



鳥光委員長

講習会の開催や各種PR活動を通してセメント系固化材の普及に努めているセメント協会・セメント系固化材普及専門委員会の鳥光照雄委員長に、活動状況などについて聞いた。

——セメント系固化材普及専門委員会の活動状況について。

鳥光委員長 当委員会は、セメント系固化材の広報・普及を目的にセメント系固化材技術専門委員会と連携しながらPR活動等を進めている。

具体的な活動は、「PR」「統計」「ホームページ」および昨年度より新たに立ち上げた「講習会検討」を担当する4つのワーキンググループを通して行っている。

【講習会検討WG】

これまで39回にわたって開催してきた従来のセメント系固化材セミナーにかわる普及ツールとして、「固化材実務講習会」を企画・実施している。

同講習会は、昨年3月に改訂されたセメント協会標準試験方法「セメント系固化材による改良体の強さ試験方法」を題材としており、同試験方法に従って一連の試験手順を実技講習することなどを通して、セメント系固化材の適切な使

用法についての理解向上を図っている。

昨年11月22日に協会員を対象に第1回目を開催し、本年6月27日にセメント系固化材を扱う販売店までを対象を広げ2回目を開催した。今回実施したアンケートでは「有意義であった」とする意見がよせられ、今後の普及における一つの柱として手応えを感じている。

将来的には一般ユーザーを対象とした実務講習会の開催を予定しており、今回の成果を踏まえて今年度中に第3回目を開催したいと考えている。

【PR-WG】

主に官公庁や地方自治体などの発注者を対象とした個別講習会を企画しており、各機関の研修会のなかで講演機会を設けていただいている。

直近では、8月22日に福岡県建設技術情報センター主催の「平成19年度新技術・新工法講習会」の「地盤改良セミナー」において県内の技術系職員らを対象に講演した。また、9月20日に北海道土木技術会・土質基礎研究委員会の主催する「地盤改良セミナー」で「地盤改良（設計・施工）に関するファクター」について、10月25日には佐賀県の「平成19年度建設技術職員研修」における「土質」講座で「固化処理と環境対策」についてそれぞれ講演した。今年度はさらに福井県や北海道でも講習会を予定している。

さらに近年は、学校関係の授業等でもセメント系固化材に関する講義を行っており、今年度は10月31日に宮城大学のセミナー、11月6

実務講習会を開催

使用法の理解向上を図る

日に秋田大学の授業で、それぞれ建設系の学生を対象に講演を行った。

このほか、7月4～6日に地盤工学会が名古屋で開催した「地盤工学研究発表会」において、技術展示コーナーにセメント系固化材の展示ブースを出展するなどの活動を行っている。

また、セメント協会が作成している会員社の製品紹介カタログの改訂にあわせ、セメント系固化材の取り扱いにおける注意点等の掲載を予定しており、記載内容等の検討を始めている。

【統計WG】

セメント系固化材の出荷量を集計し、ホームページ上で公開している。これに加え、過去のデータをもとにこれまでの需要動向の分析も検討している。

【ホームページWG】

セメント協会のHP内のセメント系固化材に関するページの内容充実を図っている。今後、セメント系固化材の適正な使用方法や過去の需要動向など、PR-WGや統計WGが進めている検討内容も詳細に反映していく予定だ。

今後は特にこれらのWG活動を通じて、セメント系固化材の使用方法について、試験方法も含めた使用上の一連の流れを解説することなども検討している。普及が進み、用途が広がるにつれ、ユーザーも多岐にわたるようになってきたため、新たなユーザーに対しても正しい使い方の周知・徹底を図るべく、PRに力を入れていきたい。